

## ■養成所ニュースプラス第 10 号 2025□■

今日から東京会場 A 日程のスクーリングが始まりました。東京は猛暑続きで、アスファルトの照り返しや多くの室外機の排気で、独特の暑さを感じると思います。体調に気をつけて3日間を過ごしていきましょう。

Plus Quiz は「社会福祉の原理と政策」から「ニイリエが示したノーマライゼーションの考え方にに基づく支援」について取りあげます。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかもあわせて考えてみましょう。

## ■Plus Quiz . . . . .

【第 37 回問題 21】次の記述のうち、ニイリエ (Nirje, B.) が示したノーマライゼーションの考え方にに基づく支援として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 知的障害者と知的障害児を同じ施設で生活できるように支援する。
2. 要保護児童に対しては、大規模な入所型施設で専門的なケアを提供する。
3. 障害のある成人は、同性だけで生活するように支援する。
4. 知的障害者の生活を、ノーマルな生活状態に近づけることを目指す。
5. 知的障害者の自己選択よりも、支援者の決定を優先する。

正答と解説は最後に記載してあります。

## ■Yoseijo Info . . . . .

- ・ (36-37 期生) 教育訓練給付制度 (専門実践教育訓練) の支給希望の方へ  
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。  
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・ 受講の手引の表紙裏 (表紙の次のページ) に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。  
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・ (第 36-37 期生) 今夏のスクーリングの日程及び会場のご案内です。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1551791&c=3246&d=99c7>

## ■Test Info . . . . .

国家試験に関する情報をお届けします

- ・ 第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日 (日) です。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1551792&c=3246&d=99c7>
- ・ 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1551793&c=3246&d=99c7>
- ・ 本養成所では、受験対策講座の一環として「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」を web にて公開しています。  
アクセスするための URL やパスワード等のお知らせは、養成所ニュースプラス第 6 号配信時に PDF データを添付しておりますので、確認のうえぜひ受講してください。

URL はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1551794&c=3246&d=99c7>

※2 本目以降の動画も順次公開してまいります。今しばらくお待ちください。

## ■Plus Info . . . . .

その他の情報をお届けします

- ・ 日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。  
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1551795&c=3246&d=99c7>

## ■Back Number . . . . .

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1551796&c=3246&d=99c7>

## ■Plus Column . . . . .

### 【受験対策ミニ講座第7回／知識を定着させるための工夫2】

知識を定着させるための工夫2回目は、安川康介著「科学的根拠に基づく最高の勉強法」(KADOKAWA、2024年)から科学的効果が高い勉強法を紹介します。

「勉強したことや覚えたいことを、能動的に思い出すこと、記憶から引き出すこと」をアクティブリコールと言い、インプットした内容をアウトプットすることこそ記憶を長期に定着させる効果的な勉強法なのだそうです。

医師である筆者が実際行なったアクティブリコールの勉強法に「白紙勉強法」があります。(1)覚えたいことをもとの情報を見ないで紙に書き出す、(2)わかっていないこと、忘れていることを教科書等で見直し情報を確認する、(3)(1)と(2)を繰り返す、(4)時間をおいて(1)から(3)を繰り返すというやり方です。サブノートを作るわけではないので、書き殴りでOKなのだそうです。また、覚えにくいときは声に出すこと(プロダクション効果)や誰かに教えるふりをしてアウトプットすること(プロテジェ効果)でさらに効果が上がると言います。

最も学習効果が高いのは、思い出すための手掛かりが少ない状態でアクティブリコールを行なうことだそうですが、過去問や穴埋め問題を繰り返したり、受験対策本にカラー下敷きを当てて思い出す、職場で同僚に知識を使って説明するのもアウトプットの方法と言えます。

前回紹介した海馬を騙すために繰り返し復習する方法といい、知識を定着させるための工夫はアウトプットにあるようです。今回は、スクーリングでの皆さんの声(受験対策の進捗状況等)を紹介します。

### 【Plus Quiz . . . . . 正答と解説】

津久井やまゆり園事件から9年の月日が経とうとしています。「障がいの有り無しで命を選別することは、絶対にあってはなりません。どんなに重い障がいのある方も同じ地域の一員です。この世に生を授かった誰しもが楽しく幸せな生活を求め、共に支えあう社会の実現を心より願っています。」当協会が事件直後に出した声明文の一部です。

当時、犯人の「意思疎通の取れない人間は安楽死させるべきだ」との主張が、大きく報道されると、SNSは多くの同調する声であふれました。それらの背景には、優生思想やエイブリズムが見て取れます。しかし、私たちソーシャルワーカーには、社会正義をめざし社会に働きかける役割があります。

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義には、諸原理として社会正義、人権、集団的責任、多様性尊重が掲げられ、これらに基づき獲得すべき理念のひとつが、ノーマライゼーションです。バンク-ミケルセンが「ノーマライゼーションの父」と称されますが、ニイリエはその理念をさらに発展させた「育ての父」として知られています。ニイリエは、1969年の著書「ソーシャルワークの原理」で、ノーマライゼーションを「すべての知的障害者の日常生活様式や条件を、社会の普通の環境や生活方法に可能な限り近づけること」と定義し、ノーマライゼーションの8つの原則を示しました。

今回の第37回問題21は、常識的に判断すれば正解できる問題でもあります。一方、第37回「ソーシャルワークの基盤と専門職」問題66の事例問題でもノーマライゼーション理念が問われています。難問に見えますが、ヴォルフフェンスベルガーのソーシャルロール・パロリゼーションを理解していれば解ける基本的な問題でもあります。押さえておきましょう。

1. ×ノーマライゼーションの原理「4. ライフサイクルにおけるノーマルな経験」から適切とは言えません。地域住民との関わりを奪い隔離と捉えられる可能性もあります。
2. ×同じく「8. ノーマルな環境基準」から適切とは言えません。児童それぞれの状況により必要な環境は変化し、他の児童と同様の生活等の保障が必要です。

3. ×同じく「6. 異性と暮らす暮らし（当時は異性愛が当然視されていました）」から同性だけで生活するように支援するのは適切とは言えません。様々な性の人とともに住む世界に暮らすことが適切な考え方です。
4. ○同じく「8. ノーマルな環境基準」から適切と言えます。知的障害者をノーマルにするのではなく、生活条件をノーマルにしていく環境を提供することです。
5. ×同じく「5. ノーマルなニーズの尊重」から適切とは言えません。優先されるべきことは、知的障害者の自己選択です。

※今回の解説は、共通科目8第2章第2節から引用しています。ニィリエの「ノーマライゼーションの原理」の他の項目は、共通科目8 p.37・38で確認してください。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus